

まつまえ

議会だより



(花まつり稚児行列の様子)

桜のように百花繚乱

| | | |
|------------------------|-------|---------|
| ■第1回定例会、第1回臨時会 | | P 2～5 |
| ■予算審査特別委員会 | | P 6 |
| ■一般質問 | | |
| ・沼山議員 [光回線未開通地域の解消] | | P 7 |
| ・近江議員 [基幹産業強化への施策] | | P 8 |
| ・福原議員 [天候に左右されない漁業経営] | | P 9 |
| ・工藤議員 [医師のオーバーワークについて] | | P 10 |
| ・西村議員 [町政執行(病院事業について)] | | P 11 |
| ■町内会連合会との意見交換会 | | P 12～13 |
| ■議会日誌等 | | P 14 |

No. 97

平成29年6月1日発行

平成29年

松前町議会《3月2日～8日》

第1回定例会

第1回定例会は3月2日に招集され、平成29年度当初予算など町長提出案件23件、議員提出案件3件を審議し、8日に閉会しました。

一般質問は、3人の議員が各1問ずつ、2人の議員が各2問ずつ、町長に対して考えを質しました。

(一般質問の内容は、7～11ページに掲載しております。)



蓄養ホッケ



海水氷を使用し高鮮度出荷されるマグロ

町政執行方針に対する主な質疑

※町政執行方針は町広報4月号2～7ページをご覧ください。

問 漁港整備における蓄養や養殖事業について

町長 松前町漁港期成会連合会、北海道庁、北海道開発局に漁港の整備の関係で要望をしています。現状の計画では、基本的に、現在ある漁港内の静穏域をどのように利用するかということ

ところで要望活動をしていきます。今までも港内の静穏域を利用した増養殖の取り組みを進めてきました。漁業者もその方向に考え方を切り替えてきているのが実態であり、今年度また新たにホッケの蓄養に着業したい漁業者も出てきています。そういう状況の中で、有効に漁港を使って、生産を上げていく方法に切り替わってきているということは間違いないと思っています。漁港を有効に利用し、生産、所得を上げていけるような方策を支援していきたい

かと思っております。

問 水産業における付加価値を高め、高鮮度出荷への具体的な取り組みは？

町長 生産した魚、貝類は、漁業者が鮮度保持のための工夫をしており、鮮度のいいものを出荷できるように体制づくりをしています。マグロ漁師の人が船上で活締めして、海水氷を使いながら鮮度のいいものを出荷しております。また、港内でホッケを蓄養養殖をして出荷していますが、その漁業

者も海水氷を使って、鮮度の高いホッケを出荷しています。

問 肺がん、胃がん、大腸がんの三大がん対策について

町長 町民の健康を保持するために、検診を受けられるような環境づくりをしていきたいという思いで、職員と相談しています。検診助成をする体制づくりをしています。また、まだ受診率が上がってきません。町民の健康を守るためにどんな政策が打てるのか、今より一歩踏み込んだ体制ができるのであれば踏み込んでいきたいと思っています。

問 今後の空き家対策の進め方について

町長 町民に安心と安全を与える意味では空き家の対策は不可欠だと思っています。平成29年度中に町民に周知し、30年度の当初で予算を組めるような状況を作るための作業を進めています。全道の自治体でも様々な取り組みをしています。

**教育行政執行方針
に対する主な質疑**

で、情報をもらいながら、松前町にあつた対応を検討し、平成30年度当初で実施できるような体制づくりをしていきます。

問 松前半島道路の建設について

町長 昨年から国土交通省財務省に、この半島道路については、早期に松前側から着工してもらえようように運動をしています。これからも、力強く運動を展開していきたいと思っています。函館開発建設部に、松前町の経済界の代表の方々と早期に計画路線に格上げされるようお願いをしてきています。松前の経済を支え、移住定住を進めるうえで、大きな経済効果のある事業であり、この1、2年が勝負だという思いで運動していきたいと思っています。

問 少年団活動への支援について、その内容は？

教育長 大会等への支援としては、松前町対外活動選手派遣補助金という制度があり、全道大会出場の場合については旅費をはじめ、日当、食卓料を支援しています。また、近年は宿泊料が高額になっていますので、金銭的な負担をなるべく少なくするような支援をしています。従来まで、一定の額で補助をしていましたが、平成29年度はその額を引き上げて支援をしていきたいと考えています。

問 学力向上アクションプラン「ターゲット29」によって児童生徒の成績は、全道平均に届いたのか

教育長 毎年学力学習状況調査が実施されています。平成28年度の松前町の結果は、小学校6年生で、知識問題の国語A、算数A及び

活用問題の国語Bと算数Bの科目平均で全道平均を初めて上回り、全国平均とほぼ同等の結果となりました。一方中学校3年生では、全道平均及び全国平均を少し下回り、授業の改善を図る必要があると考えています。

問 全道・全国書道展への出展に係る費用の負担について

教育長 小学校、中学校において、全国学生書道展、全国展覧会等へ、数多くの出展がなされています。その予算を計上し、町で対応

していますが、高くても千円ほどの負担であり、それ以上は町として補填していません。出展の費用が高額になる場合は検討したいと考えています。

高校については、書道推進協議会への補助金を出しながら、全国大会への参加を奨励しています。他にも多くの大会があり、それによって挑戦していくことによって、更なる書道の広がりが見えると考えていますので、関係機関と協議をしながら、子ども達のために推進したいと考えています。



松前高校書道部

第1回臨時会

第1回臨時会は、平成29年4月7日に招集され、平成29年度松前町一般会計補正予算（第1回）についての町長提出案件1件を審議し、同日閉会しました。

内容は昨年、松城小学校の配管等の劣化状況調査を実施した結果、早急に更新が必要なことから、昨年12月に実施設計費用を計上し、この3月末に実施設計が完了したことに伴う、暖房用配管設備の取り替え、ボイラー室、電気設備の改修等についての費用計上分です。

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億千9百15万円を追加し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ49億7千3百65万円としました。

平成28年度 一般会計補正予算

| 会 計 名 | 補正前の額 | 補 正 額 | 補正後の額 |
|----------------------------|-------------------|-----------------------------------------|-------------------|
| 一 般 会 計 (第9回) 【専決処分】 | 5 3 億 9, 5 4 2 万円 | 2 4 5 万円 | 5 3 億 9, 7 8 7 万円 |
| | 主な補正額の内容 | | |
| | | ○老人福祉施設管理修繕料 | 2 0 7 万円 |
| 一 般 会 計 (第10回) | 5 3 億 9, 7 8 7 万円 | △ 1 6 9 万円 | 5 3 億 9, 6 1 8 万円 |
| | 主な補正額の内容 | | |
| | | ○ふるさと松前応援寄附受入特産品取扱委託料 | △ 1 2 0 万円 |
| | | ○地域生活バス運行事業補助金 | △ 1 4 8 万円 |
| | | ○年金生活者等支援臨時福祉給付金 | △ 4 4 1 万円 |
| | | ○障害者自立支援 介護・訓練等給付費 | △ 2, 4 5 1 万円 |
| | | 療養介護医療給付費 | △ 3 0 4 万円 |
| | | ○国民健康保険特別会計に対する繰出金 | △ 3 9 4 万円 |
| | | ○老人福祉施設入所措置費 | △ 1 6 5 万円 |
| | | ○介護保険特別会計に対する繰出金 | △ 1 5 5 万円 |
| | | ○後期高齢者医療特別会計に対する繰出金 | △ 2 1 6 万円 |
| | | ○子ども医療費 | △ 3 6 8 万円 |
| | | ○児童手当支給事務 3歳未満被用者分 | △ 1 5 0 万円 |
| | | 3歳未満非被用者分 | △ 1 7 3 万円 |
| | | ○子宮頸がんワクチン接種委託料 | △ 1 2 4 万円 |
| | | ○合併処理浄化槽設置補助金 | △ 1 7 3 万円 |
| | | ○病院事業会計に対する補助金 | 7, 0 0 5 万円 |
| | | ○渡島西部広域事務組合負担金(衛生部門) | △ 9 3 3 万円 |
| | | ○水道事業会計に対する補助金 | △ 1 2 9 万円 |
| | | ○貸付肉用牛事故損害賠償金(3頭分) | △ 1 5 0 万円 |
| | | ○町有林整備委託料 | △ 1 0 6 万円 |
| | | ○水産基盤整備事業負担金(漁港分) | △ 4 5 1 万円 |
| | | ○松前製氷冷蔵庫整備事業補助金 | △ 1 2 0 万円 |
| | | ○商工事業者経営改善等支援補助金 | △ 4 0 5 万円 |
| | | ○地域おこし協力隊賃金 | △ 2 1 3 万円 |
| | | ○大沢橋改良実施設計業務委託料 | △ 4 8 2 万円 |
| | | ○町営住宅建設 実施設計業務委託料 | △ 1 7 4 万円 |
| | | 工事請負費 | △ 4 1 5 万円 |
| | | ○町営住宅解体工事請負費 | 1, 4 0 0 万円 |
| | | ○渡島西部広域事務組合負担金(消防部門) | △ 2 4 0 万円 |
| | | ○防災行政無線整備電波伝搬調査設計業務委託料 | △ 1 1 3 万円 |
| | | ○松前町対外活動選手等派遣補助金 | △ 1 0 0 万円 |
| | | ○ICT教育推進備品購入費(小・中学校) | △ 1 8 5 万円 |
| | | ○要保護・準要保護児童生徒就学援助費(小・中学校) | △ 2 2 5 万円 |
| | | ○松前中学校グラウンド野球場改修工事請負費 | 6, 5 0 3 万円 |
| | | ○史跡松前氏城跡福山城跡保存整備 石切り場地区現況地形測量委託料 | △ 3 1 9 万円 |
| | | 二ノ丸地区コンクリート擁壁撤去委託料 | △ 1 1 9 万円 |
| | | ○一時借入金利子 | △ 1 2 2 万円 |
| 一 般 会 計 (第11回) | 5 3 億 9, 6 1 8 万円 | 6, 4 5 0 万円 | 5 4 億 6, 0 6 8 万円 |
| | 補正額の内容 | | |
| | | ○北前船記念公園総合管理施設パノラマ展望テラス等整備 工事監理業務委託料 | 2 9 9 万円 |
| | | 工事請負費 | 6, 0 4 9 万円 |
| | | ○総合管理施設備品購入費 | 1 0 2 万円 |

平成28年度 特別・企業会計補正予算

| 会 計 名 | | 補正前の額 | 補正額 | 補正後の額 | |
|------------------|--------------------|-----------------|----------|------------|-----------|
| 特 別 会 計 | 国民健康保険 (第3回) | 17億9,706万円 | △8,471万円 | 17億1,235万円 | |
| | | 主な補正額の内容 | | | |
| | | ○退職被保険者等療養給付費 | | △1,500万円 | |
| | | ○退職被保険者等高額療養費 | | △400万円 | |
| | | ○出産育児一時金 | | △336万円 | |
| | | ○後期高齢者支援金 | | △2,537万円 | |
| | | ○介護納付金 | | △1,317万円 | |
| | | ○高額医療費拠出金 | | 144万円 | |
| | | ○保険財政共同安定化事業拠出金 | | △2,131万円 | |
| | | ○特定健康診査等委託料 | | △170万円 | |
| 介護保険 (第3回) | 【保険事業勘定】 | 10億1,116万円 | △227万円 | 10億 889万円 | |
| | | 主な補正額の内容 | | | |
| | ○医師意見書作成手数料 | | △41万円 | | |
| | ○通所型介護予防事業委託料 | | △47万円 | | |
| | ○成年後見制度利用支援助成金 | | △59万円 | | |
| 【サービス事業勘定】 | 1,601万円 | △73万円 | 1,528万円 | | |
| | 補正額の内容 | | | | |
| | ○保険事業勘定繰出金 | | △73万円 | | |
| 後期高齢者医療 (第2回) | 【後期高齢者医療勘定】 | 1億 940万円 | 134万円 | 1億1,074万円 | |
| | | 補正額の内容 | | | |
| | ○北海道後期高齢者医療広域連合納付金 | | | | |
| | 事務費負担分 | | △68万円 | | |
| | 保険料等分 | | 350万円 | | |
| | 保険基盤安定分 | | △148万円 | | |
| 企 業 会 計 | 水道事業会計 (第3回) | 【収益的収入】 | 2億 925万円 | △957万円 | 1億9,968万円 |
| | | | 主な補正額の内容 | | |
| | | ○給水収益 | | 317万円 | |
| | | ○他会計補助金 | | △1,269万円 | |
| | 【収益的支出】 | 1億9,911万円 | △764万円 | 1億9,147万円 | |
| | | 主な補正額の内容 | | | |
| | | ○配水及び給水費 | | △108万円 | |
| | | ○総係費 | | △784万円 | |
| | | ○消費税及び地方消費税 | | 199万円 | |
| | 【資本的収入】 | 2,023万円 | 1,000万円 | 3,023万円 | |
| 補正額の内容 | | | | | |
| | ○企業債 | | △140万円 | | |
| | ○他会計補助金 | | 1,140万円 | | |
| 【資本的支出】 | 1億1,328万円 | △1,008万円 | 1億 320万円 | | |
| | 主な補正額の内容 | | | | |
| | ○上水改良費 | | △1,008万円 | | |
| 病院事業会計 (第3回) | 【収益的収入】 | 12億 308万円 | 7,005万円 | 12億7,313万円 | |
| | | 補正額の内容 | | | |
| | | ○補助金 | | 7,005万円 | |
| | 【収益的支出】 | 12億5,386万円 | △2,930万円 | 12億2,456万円 | |
| 主な補正額の内容 | | | | | |
| | ○給与費 | | △1,564万円 | | |
| | ○経費 | | △1,378万円 | | |
| 【資本的支出】 | 2,136万円 | △160万円 | 1,976万円 | | |
| | 補正額の内容 | | | | |
| | ○長期貸付金 | | △160万円 | | |

予算審査特別委員会

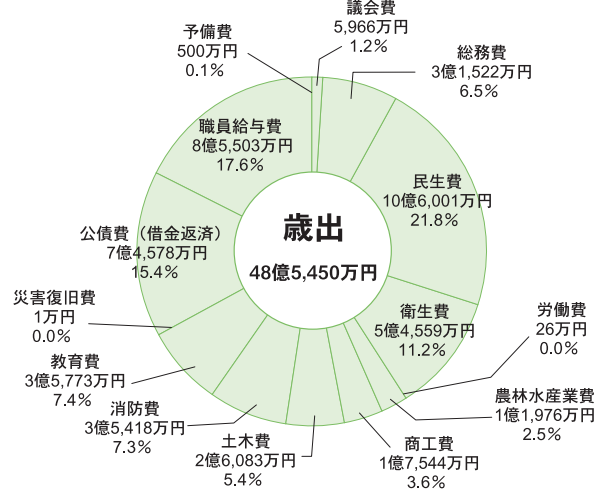
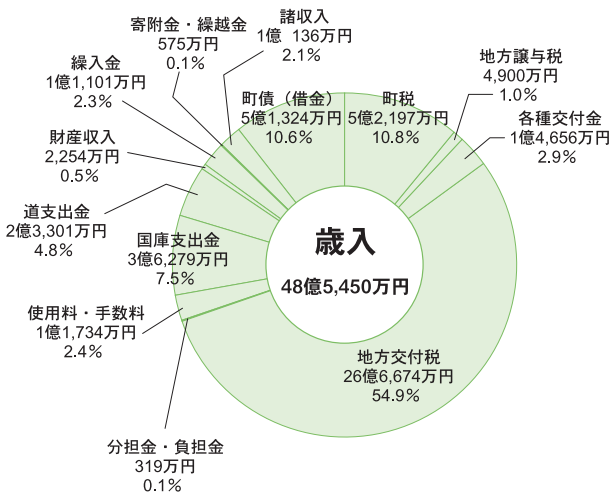
平成29年度 各会計当初予算

| 区 | 分 | 平成29年度 | 平成28年度 |
|-----------------|-------------|------------|------------|
| 一 | 般 会 計 | 48億5,450万円 | 46億9,000万円 |
| | 国民健康保険特別会計 | 16億7,100万円 | 17億7,600万円 |
| 介 護 保 険 特 別 会 計 | 保険事業勘定 | 10億1,947万円 | 9億7,560万円 |
| | サービス事業勘定 | 1,306万円 | 1,550万円 |
| | 後期高齢者医療特別会計 | 1億 946万円 | 1億 838万円 |
| 水 道 事 業 計 | 収益的収入 | 2億 460万円 | 2億 925万円 |
| | 収益的支出 | 1億9,974万円 | 1億9,892万円 |
| 病 院 事 業 計 | 収益的収入 | 11億4,327万円 | 12億1,517万円 |
| | 収益的支出 | 12億4,002万円 | 13億2,710万円 |

平成29年度各会計当初予算は、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会に審査付託され、委員長には福原英夫議員、副委員長には沼山雄平議員を選出しました。

予算審査特別委員会は、各会計の予算内容について慎重審議を行い、原案どおり可決すべきものと決定し、本会議において可決されました。

一般会計予算の内訳



平成29年度と平成28年度の当初予算 比較

| 議会費 | | 平成29年度 (千円) | 平成28年度 (千円) | 比較 (千円) | 主な使用目的 |
|------------|--|----------------|----------------|------------|------------|
| 報 酬 | | 27,720 | 27,720 | 0 | 議員の報酬 |
| 議 員 手 当 等 | | 11,423 | 10,892 | 531 | 議員期末手当 |
| 共 済 費 | | 11,049 | 11,365 | △316 | 議員共済会負担金等 |
| 賃 金 | | 1,531 | 1,507 | 24 | 会議録製本賃金 |
| 旅 費 | | 5,770 | 5,692 | 78 | 会議等出席旅費 |
| 交 際 費 | | 400 | 400 | 0 | 各種御祝儀等 |
| 需 用 費 | | 1,184 | 1,146 | 38 | 議会だより印刷製本等 |
| 使用料及び賃借料 | | 40 | 70 | △30 | 車両借上料等 |
| 負担金補助及び交付金 | | 542 | 545 | △3 | 加盟団体負担金 |
| 合 計 | | 59,659 | 59,337 | 322 | |



沼山 雄平議員
光回線・ブロードバンド 未開通地域を解消せよ！
町 長
 平成 30 年度には整備できるような体制づくりをしていきたい



沼山 平成 24 年に松前町に光回線による高速ブロードバンドが開通した。民間の通信会社主導で回線工事が行われ、全町が光回線になり、時代に即した通信サービスを受けられるものと思っていたが、6 地域に届く事なく回線工事は終了した。民間主導とはいえ、通信の格差を生み、6 地域町民に

対し差別感を与える事になった。この格差を解消する対策は何も見受けられないが町長の見解は、デジタル機器が多い社会環境の中で、未開通地域の通信状況では大変な格差を生み、大変な不利益を被っている。この格差、不平等を解消すべきである。高速ブロードバンド全域開通はデジタル通信機器時代にあつては必要不可欠、必須条件であると思つが、町長の考えは？

町長 情報格差解消については、私の公約と言つても過言ではないと思いで取り組んでいます。民間事業者とも協議を進めており、未開通地区の整備についても、町から要請をしてきましたが、町の考え方が民間事業者を受け入れられない状況が続きました。29 年度以降に、町で防災無線の無線 LAN による整備も検討しましたが、停電のときの電源確保が大きな課題となつており、共同整備は断念せざるを得ない状況になりました。

現代は、IT 社会とも言われており、様々な分野において情報網は必要不可欠なものとなっております。産業分野などにおいても、1 次産業から 3 次産業まで、これらを合わせた 6 次産業まで情報がなければ事業の継続が困難な時代になってきています。

情報格差を解消するためには、国が主体となるような取り組みが必要です。29 年度は、準備をする年度にしたいと思つており、30 年度には整備できるような体制づくりをしていきたいと思つていきます。

沼山 地域再生法が施行される 11 年、まち・ひと・しごと創生法が施行され 2 年経過した。30 年先、50 年先を

松前町創生戦略推進強化
について

見据えて政策の方向を示し、戦略的事業を加速させなければならぬと考える。「松前町の創生」は町長の本丸であり、協働と推進強化を担当する「松前創生推進対策室」なる部署の設置を考

えるべきではないか？ 地方創生は官民一体で言われている。地域性を考慮して、地域に浸透させる取り組みのように展開しようと思つているのか。松前の将来を担う人材、次世代を担う青年の育成が重要、人材を育成する事は、未来を拓く事に繋がる上で最も重要なテーマであり、人材育成への具

体的施策を示すべきである。
町長 国の施策の多様化や事務量の増により、現状の職員体制であれば、新たな専門部署の設置については、難しいと考えていますが、その体制づくりが可能かどうか、検討はしたいと思つていきます。

行政が主体となるような事業が多く、それを展開するには、民間の協力や関わりが必要不可欠なものと考えています。民間主導での事業展開が理想的ですが、現実的にはそのような状況になく、民間に負担をかけないような協力の呼びかけをせざるを得ないのが実情です。

人材の育成については、現在、社会教育、学校教育、地域教育というものが非常に大事であると考えています。子どもは町の希望、宝です。教育環境の整備を図り、将来の松前町に愛着を持ち、町を引つ張っていく人材を育てるためにも重要であると思つていきます。

就業体験のように、各分野で専門的な識見を持つている方々との交流を通じた育成が、即効性もあると思つており、この部分を大事に、まちづくりに結びつけていきたいと考えています。



近江 武議員

基幹産業の強化へ施策を問う！（基幹産業の維持と担い手を？）

町 長

漁業者の意見を聞き、漁業振興をしていきたい

近江 少子高齢化に伴い、松前町の人口減少は止まるところを知らない。特に基幹産業の漁業、農業・畜産業においては深刻な状況であり、また、多くの雇用を創出している水産加工業についても多くの課題を抱えている。人口の流出をくい止め、後継者が残り、新規に起業が出来る様な産業基盤策の整備、構築等、町長の具体的な考えは？

1 今後の漁業振興について

2 水産加工業への施策について

3 畜産業振興について

4 後継者、新規起業者の育成について

町長 **1** 漁船漁業の補助による対策の他に増養殖事業の推進、漁港整備の促進更には水産加工業に対する

体制支援など、いろいろ施策を進めてきた結果として現在、ナマコ、コンブ、ホッケ、アワビの養殖事業、ウニの深淺移植、ホヤの採苗養殖、アサリの養殖試験などに取り組んでおり、また、北海道大学水産学部と連携し、岩ノリの調査も進めています。今後とも、積極的に漁業者の意見を聞きながら、漁協と連携を取り、漁業振興をしていきたいと思っています。

2 原魚の確保が大変厳しい状況、更には働く人達の確保についても、大きな問題だと思っており、町の大きな産業ですので、守っていきたくと思っています。原魚の確保の問題について、行政としてどのような支援ができるのか、その方法、方策さえも現状では見出せない状況にあります。



採苗養殖されたホヤ

からやっているようですが、様々な問題、課題があると聞いています。必要な労働力ですので、外国人に対する受け入れについては、情報を収集し、他の事業者の動向を見ながら検討を進めるべきだと思っています。

3 町として、平成29年度は、新規就農、繁殖センター、既存の農家の所得向上の三つを一つのテーマとして、農業振興に取り組んでいく年だと思っています。28年度は、家畜人工授精師の人材確保もあり、農業系の大学と相談をしてきました。結果として、29年度4月から1名の人工授精師の採用を決定しました。これを縁に、大学と事業協定を結び、調査、協議をし、安定的な畜産経営、牛以外の事業展開を進めたいと思っています。

これからは水産加工業界と連携をとりながら、方策を見出していきたくと思っています。現在、外国人研修生などの受け入れについて、町内では1経営体、1事業所が受け入れを行っており、通年雇用という体制をとりな

農家が減る中で2億円の生産をし、大きな企業に育つてきていると思います。松前牛のブランド化も目に見えてきている状況です。その中で新しく繁殖センターを建設し、産まれた子牛を既存農家、或いは新規就農者へ低価格で販売、既存農家は規模拡大を図り、新規就農者は繁殖雌牛がいなくても、素牛出荷ができるような低コスト高収入の経営を目指した事業展開に向けて取り組んでいきたいと思っています。

4 若手の着業者もいますが、まだまだ後継者が育っていないのが畜産業の現状です。水産業においても、後継者不足なのは現実だと思っています。

これまでに、漁業後継者に対して、研修や研修所への入所に要する費用の支援

をしてきました。平成9年度以降、12人の方が研修所に入所しています。

小型船舶操縦士の資格、更には潜水士の資格は、これからの松前の漁業を考えた場合に、不可欠だと思っています。平成29年度は、新たに漁協の正組合員になる漁業後継者5人がいると聞いていますし、資格取得に関する研修などがあれば、町としての積極的な支援を検討する必要があると考えています。





福原 英夫議員

天候に左右されない漁業経営を目指して

町 長

生産を上げるための施策を考えなければならない

福原 今日まで漁業経営安定のため、多くの漁業施策を試みてきた。しかし、思うような結果に繋がらず、平成28年度には正組合員は300人を切るに至った。時間を費やしても天候に左右されない確かな未来が見える漁業に転換を図らなければならぬ。このための課題解決の考え方は？

- 1** 天候に左右されない漁業
 - (1) 養殖・蓄養漁業としての活用するためのプラン作成
 - (2) 未利用海藻の有効活用と製品の統一
 - (3) 昆布・アワビ等の養殖技術を生かした漁業経営の奨励
 - (4) ウニ蓄養施設の付加価値の高い効率的な運用
 - 2** 資源管理と漁業ルール
 - 3** 魚介類のブランド化と販売網の確立
 - 4** 60歳以上漁業者の所得向上プラン作成
 - 5** チャレンジ支援基金制度の創設

は理解していますが、自然には勝てない部分もあります。しかし、漁業生産を上げるための施策はいろいろ考えなければならない状況だと思っています。

(1) 漁港の中を利用し、ホッケ、ウニ、ナマコなどの養殖、蓄養を行っています。地域の漁業者から、その漁港の特性などを聞き取り、進めています。

(2) フノリとヒジキについて、着業している方がいます。町としても今まで以上に踏み込んだ連携ができるような体制づくりを検討したいと思っています。

(3) 町、漁業協同組合、漁業者で様々な取り組みをしてきました。その技術が上手く活かされるような展開が必要だと思っています。どのような奨励の仕方があるのか検討したいと思っています。

(4) 以前から各地区の実行組合で、餌用のコンブ確保を実施しています。漁業者、実行組合と協議して、8月9月まではコンブで対応できるとのことですが、問題は秋以降の餌をどうするかだと思っています。春の間引



漁港内でのナマコ養殖の様子

- 5** 基金が必要な状況になります。
- 4** 検討しなければならぬ部分も多くあり、所得が向上するような体制をとり支援をしていきたいと思っています。
- 3** 漁業生産を上げるための手段として、欠かせないと思っています。漁協とも検討してみたいと思っています。
- 2** 様々な部分で管理することにより、年間100万円アップできるような計画の展開も可能だと思っていますので、管理型漁業の協議をしていきたいと思っています。

るのであれば、創設もできるだろうと思っています。やる気のある方には支援をしていきたいと思っています。

転出者に歯止めをかける施策とは

福原 2015年国勢調査1411人減少16・1%の減少率。大きな要因は、転出者の大幅な超過にある。なぜこのような現象が起きたのか。町に住むに値する魅力が低下したのか。人口流失に歯止めをかけることは至難である。しかし、早く有効な手段を構築しなければならぬ。人口流失は消費、活力、町民の心等に表れてくる。この課題解決の為の考え方は。

- 1** 同一労働、同一賃金の視点から町臨時職員等の処遇改善
 - 2** 母子、老人世帯等の負担軽減を図る為に空き住宅を活用した住環境の改善
 - 3** 町民自ら所得向上に取り組む為には我が家の一村一品運動の奨励
 - 4** 健康づくり等で生活に目標を持ち意欲的に取り組む町民を育てる為の目安となるポイント制度導入の検討
- 町長** **1** 臨時や非常勤職員の待遇改善のため、国は地方公務員法と地方自治法の改正に向けて動いており、今後、国会に法案を提出し、施行時期は平成32年の4月を見込んでいるという情報を得ています。この法案の動向を注視しながら、町においての制度設計を構築していきたいと考えています。
- 2** どうしたら高齢者が空き家を利用できるのか、その制度設計をしなければならぬ。職員と勉強したいと思っています。
- 3** 所得の向上と町民のやる気を喚起できるような施策を打ち出したいと思っています。
- 4** 社会教育、或いは健康推進、財政的な部分もありますので、勉強したいと思っています。



工藤 松子議員

命を守る砦 町立松前病院の医師の命は誰が守る！

町長

町として応援できることはしっかり応援していきたい

工藤 この度、北海道から

医師1名の派遣が決まり、常勤医師5名体制が整うことになった。松前町立松前病院の新公立病院改革プラン(案)が八木田病院長の並々ならぬ情熱の基に策定された。

3月1日に開かれた「地域医療の今後のあり方に関する調査特別委員会」の席上、午後診療への希望を述べたが、医師のオーバーワーク状態であり、善悪頼みと思うが。

医師確保のための研修育成の面で、プライマリーケア北海道支部の看板の下、運営してきたが、今後は、大きな支えもなく、指導する医師の業務負担を考えると不安を感じる。

住民への理解を図る広報活動へ町は、もっと手を貸すべきと考えるが。

町長 医師数が10月から4

名体制になり、病院は八木田病院長中心に診療の見直しをしてきました。医師確保が喫緊の課題でしたが、29年度4月、北海道から自治医科大学卒8年目の医師が派遣され、5人体制になります。しかし、北海道からの派遣は1年の期限付きであり、まだまだ医師数が不足している状況です。最低限医師6人の安定した診療体制を早い時期に実現したいと思っています。

現在の常勤医4人の中で3人はプライマリーケアの北海道ブロック支部の会員でして、プライマリーケアの指導医です。これからも、院長はじめ医師の皆さんが、プライマリーケア学会及び北海道ブロック支部の中で連携をしていきたいとの意向であり、本当に安心して

います。

新年度から、研修医、医学生研修の受け入れをすることにしました。まず、月1人、少人数から始めていきたいというお話を聞いています。院長はじめ医局の先生方には、無理をしてほしくないという思いもあります。院長の強い思いで研修医、更には研修生の受け入れをする形になりましたので、町としても応援できることはしっかり応援していきたいと思っています。

病院の情報について、努めて町民に早くわかってもらえるような対策はとってきたと思っていますし、4名の医療体制から1名増えることも広報に載せています。また他の病院から支援の関係も早く町民にお知らせをしてきているつもりで

す。

町民に安心してもらうために、今までどおりの形で情報を提供したいと思っています。





西村 健一議員

平成 29 年度町政執行のスタンスは (病院事業について)

町 長

病院と一体となり町ぐるみで病院を守る

町長 町民の命と健康を守る、健康保持に必要な医療を提供する責任が町長にはあると思っています。その思いで、今まで病院に対する設置者としての対応をとってきました。1年間ではありますが、北海道から自治医科大学を卒業された医師1名の派遣を受けられることになり、4月から医師

西村 昨年、町長選で掲げた公約を果たすべく努力され、果実が少しずつ表われているが、まだまだ病院の件で、院長不在や常勤医不足等の課題もあった。後に八木田副院長の院長就任で新医療体制が整い、良好な医療が期待され、患者、町民は安堵。町長は病院設置責任者として、厳しい環境で頑張る医師を守り、町民に「町ぐるみで病院を守る」といった気運の喚起に努め、八木田院長体制をしっかりと支え、病院を守っていくべきと考える。それが町民に発する町長のメッセージに繋がると確信している。

町長の思い、29年度町政執行のスタンスはどうか？



町立松前病院西病棟ナースステーション

5人の体制が整うこととなりました。北海道保健福祉部の大変な配慮があつて、このような医師確保ができたと思っています。八木田病院長とともに、町として北海道に要請してきたことが実を結んだと思っています。

院長は、研修も受け入れられるような体制を整えた中で、ステップアップを考えているようですので、しっかりと支えていきたいと思っています。まず6人体制を早く実現できるように、院長、病院スタッフと連携をとりながら、医師の確保に向け、早い時期に適正な医療ができるよう、努力を

していきたいと思っています。医療現場における環境の整備についても、適切な病院運営を維持し、改善を図っていくため、今後とも八木田病院長のもとで、町として全力で協力、連携をするとともに、病院と一体となって町ぐるみで病院を守

るといふ気概を持ち、努力していきたいと思っています。

町議会議員と町内会連合会 との意見交換会

平成29年3月23日、議会議員と町内会連合会との意見交換会が開催されました。意見交換会では4つの町内会から1問ずつ議員へ質問がなされ、それぞれの質問に議会としての考えを回答しました。

唐津町内会 常任委員会の 所管事務調査 報告について

問 調査結果など、議会報告会を開催することについてどう考えているか

伊藤議長 議会だよりに視察の報告書を掲載しているが、読んでもらえるよう改善は必要。今後は議会報告会や懇談会を開催したいと考えているので、議会運営委員会に諮り、協議する。

堺議員 全体へ知らせる場を設けていなかった。所管事務調査の報告について、強い要望があるため、議会運営委員会を開き、納得してもらえる形で議会として

取り組みたい。

荒谷町内会 議会改革特別 委員会について

問① 改選前に残っていた部分を27年の改選後の体制で議論することになっていだが、その後の状況及び今後の考え方は

伊藤議長 改選後、議会改革特別委員会は立ち上げておらず、議員定数の問題や残っていた問題として、議場へのパソコンの持ち込み、政務活動費についてなどがあるため、速やかに議論する必要がある。

問② 開かれた議会、見える議会になっていないのではないか

伊藤議長 出前委員会や議会報告会を行っていた時期があったが、町民の集まりが思わしくなく、やめてしまった経緯がある。今までのように防災行政無線で開催の案内をするだけでなく、

町民に来てもらえるような方法を考えたい。
選挙公報についても、議論の結果やめてしまっているが、議会改革委員会の中で議論したい。

館浜町内会 松前町議会議員 の定数について

問 人口減少が推計される中、これからの議員定数についてどう考えているか

伊藤議長 定数を減らすとすれば、議員報酬や常任委員会の構成、議員個々の考えなど、協議すべき問題が多数あるため、すぐに会議を開き、協議をしたい。その時間をいただき、しかるべき時に町内会連合会との協議を行いたい。

豊福町内会 議員活動について

問 議員活動で何を一番に重要視しているか

油野議員 病院について。病院は町民の健康を守り、若い人の働く場を確保することにもなると思っている。また、薬草についての研究も行っていきたい。



工藤議員 病院を頼りにしなければならぬ人たちのために活動してきた。今後は町民一丸となって病院を支えていかなければならない。

堺議員 漁業に力を入れたい思いから立候補した。松前は水産の町であることから、蓄養漁業など、養殖を成功させるために注力していく。

西村副議長 産業振興を政策論に立候補した。地産地消と言われるが、自産自消という自ら使うものを自分で生産する取り組みを考えたい。

斉藤議員 行政は町民目線で進めなければならぬという信念を30年以上持ち続けている。今は、まず松前半島道路を今年か来年のうちに目途をつけたい。

梶合議員 「公正な判断」「公正な批判」を心がけてきた。町政執行に際し、議員は審議、判断しなければならぬ。その時に何が正しいのかを見極め、公正な

判断をする。議員活動として、議会終了後の1週間から10日のうちに議会の内容を、自分なりの議会だよりという形で報告している。

沼山議員 町民の声を行政に届けるという信念を持ち、少しでもその声を行政に反映させたいという思いから、「がん対策の問題」、「光回線の全地域開通」を一般質問した。議員になる最も

大きなきっかけに地方創生がある。松前で生まれ育つた以上は、この町をなくしてはならない。100年先を見据えて松前を成長させなければならない。

飯田議員 自分たちもしくはもっと若い世代の人たちも元気で暮らせるよつにという思いで立候補した。今までは、自ら情報を発信していたが、皆さんから受信することができていなかった。議員になる前から観光

振興に取り組んできたので、得意分野としてこの先も進めていきたい。今、重要視していることは、松前の人、松前のことを知ることで

伊藤議長 信条は町民皆さんの声を聞くこと。何をすればよいかお尋ねした上で、政策提言、立案に邁進する。今こそ議員一丸となり地方創生に注力したい。視察に行つて学んだことで、政策提言・立案に心血を注いでいきたい。

渡島・檜山管内町村の議員定数の状況

第62回町村議会実態調査集計表(H28.7.1現在)を基に作成

【渡島管内】

| 町 村 名 | 住民基本台帳人口 (A) | 議員定数 (B) | 議員1人当たり人口 A/B |
|---------|--------------|----------|---------------|
| 松 前 町 | 7,900 | 12 | 658.3 |
| 福 島 町 | 4,406 | 10 | 440.6 |
| 知 内 町 | 4,636 | 10 | 463.6 |
| 木 古 内 町 | 4,456 | 10 | 445.6 |
| 七 飯 町 | 28,450 | 18 | 1,580.6 |
| 鹿 部 町 | 4,104 | 10 | 410.4 |
| 森 町 | 16,351 | 16 | 1,021.9 |
| 八 雲 町 | 17,342 | 16 | 1,083.9 |
| 長 万 部 町 | 5,720 | 10 | 572.0 |
| 平 均 | 10,373.9 | 12.4 | 836.6 |

【檜山管内】

| | | | |
|---------|---------|------|-------|
| 江 差 町 | 8,145 | 12 | 678.8 |
| 上ノ国町 | 5,198 | 9 | 577.6 |
| 厚 沢 部 町 | 4,116 | 10 | 411.6 |
| 乙 部 町 | 3,936 | 10 | 393.6 |
| 奥 尻 町 | 2,820 | 8 | 352.5 |
| 今 金 町 | 5,592 | 12 | 466.0 |
| せ た な 町 | 8,471 | 12 | 705.9 |
| 平 均 | 5,468.3 | 10.4 | 525.8 |



事務局職員異動のお知らせ

4月1日付けの人事発令で、新しい議会事務局長に鍋島孝明(前総務課主幹)が就任しました。



鍋島議会事務局長

町政の主人公は皆さんです。議会を傍聴してみませんか? (手続きは簡単! 傍聴者名簿に住所・氏名を記入するだけです。) ※次の定例会は6月21日(水)からの予定です。

議会日誌から

Table with columns for dates and activities. Includes entries for February 20-25, March 1-5, and April 3-5, detailing various council meetings and events.

お知らせ

議会映像のブルーレイ・DVDの松前町ホームページより議会の貸出をしています。会議録が閲覧できます。

議会事務局からのお願い

議長宛の諸行事案内などの文書は、議会事務局へお届け願います

議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしております。

字福山248 松前町役場議会事務局まで 電話 0139-42-2275 内線281・282

編集後記

過日、町内会連合会と議会議員との意見交換会を行った。あらかじめ用意された課題を中心に進められた。町民と議会、行政との距離をできるだけ縮め、協働のまちづくりへと進んで行くことが、それぞれの立場で共通の願いであると認識を新たにしたい。そのためには議会として何を為すべきか。遅まきながら議会改革へ腰を上げた。実のあるものになりたい。町政の主人公は町民の皆さんであることは言うまでもありません。自分の選んだ議員との距離を縮め、幅広く町民の声として町政に反映させてい